

科目名 生命倫理 時間割表記名 生命倫理	配当時期 2年次 前期 単位数 1単位 時間数 15時間(8回)	講義担当者 藤井 可	
事前学習内容 学習内容を確認し、個人の意見をもって授業に参加する。			
授業目標 1. 生命倫理の歴史、特徴について理解できる。 2. 現代の臨床現場に存在する倫理的問題について理解し、個人の死生観を深める。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	生命倫理概説(1) 倫理学とは 倫理、法、道德の関係	講義	資料配布
2	生命倫理概説(2) 生命倫理・医療倫理・臨床倫理	講義	資料配布
3	生命倫理概説(3) 医療・医学に関する倫理綱領	講義	資料配布
4	生命倫理概説(4) インフォームド・コンセント	講義	資料配布
5	安楽死の問題 安楽死とは 積極的安楽死と消極的安楽死 尊厳死	講義	資料配布
6	脳死と臓器移植の問題 脳死とは 脳死の判定基準 脳死は死か	講義	資料配布
7	生殖補助医療の問題 高度生殖補助医療 生殖の自律 こどもの最善の利益	講義	資料配布
8	筆記試験 (45分間)		
受講上の注意 授業の進展状況に応じて、授業内容を変える場合がある。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院			